北小物語2018

平成３０年　７月１７日
平戸市立田平北小学校
学校便りＮｏ．（ ３３ ）
校長　曽川　和則

◇◇◇「いい顔」「いい声」「いい心」たゆみなく流れて清き「わが田平北小」◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆★☆彡 第３３話：「ありがとう！ジェイムズ先生！～ SEE YOU また会う日まで～」の巻 ☆★☆彡

　ますます国際化する社会と時代の要請を受け、新学習指導要領では、小学校における外国語活動が重要視されています。３・４年生では「外国語活動（英語活動）」、５・６年生では「外国語科（英語科）」として、教育課程の中に位置づけられることとなりました。外国語（英語）の習得においては後進国とされる我が国において、「世界で活躍できる日本人の育成」を視野に入れた大改革が始まっているのです。本格的な実施は、２０２０年度からですが、もうすでに今年度から移行期に入り、中学年で年間１５時間、高学年で年間３５時間の外国語（英語）授業を行っているところです。
　その授業のサポート役となって、子どもたちに英語の楽しさを教えているのは、ＡＬＴのジェイムズ先生です。オーストラリア出身、現在２６歳のジェイムズ先生は１８０㎝を超える長身で、まさにイケメン。（私も、うらやましい限りです！）授業だけではなく、給食時間や昼休みの遊びなど、子どもたちと大いにかかわり、子どもたちをいつも大事にしてくれたナイスガイの先生です。
　そんなジェイムズ先生ですが、寂しいことに７月２０日（金）の終業式をもって、この田平北小学校を離れます。２学期から、市内に新しいＡＬＴの先生方が加わり、全体的な配置換えが行われ、ジェイムズ先生とお別れしなければならなくなったのです。（子どもたちは悲しみに暮れています・・・！）
　７月１３日（金）に開かれた「ジェイムズ先生とのお別れ式」では、ジェイムズ先生が英語と日本語で、子どもたちに「感謝と惜別のメッセージ」を語ってくれました。その中で、「平戸には住んでいるので、どこかで出会ったときは、ＡＩＳＡＴＵ ＢＥＡＭ（あいさつビーム）をしてください。」というお願いがありました。また、出会えることを楽しみにして６年生の子どもたちが、英語と日本語で「感謝と再会のメッセージ」を送りました。会話の中に自然と英語があふれ、北小の国際化が見られました。
　「ロック、シザース、ペーパー、ワン、ツー、スリー」で始まるイングリッシュジャンケンが大ブームの北小です。やがて世界に羽ばたいていく２２８名の未来の礎を築いてくれたジェームズ先生、感謝！